



BanRomSai Newsletter [dee]

バーンロムサイジャパン

〒240-0112 神奈川県三浦郡葉山町堀内1036 | Editing & Design Terasse Team: Mariko Y., Kyoshiro N., Noriko A., Yukari M.,

Kentaro T., Miho N. | **Special Thanks to: Mizuno Pritech, Tomoaki O., Eiko N., Lisa A., Yoriko T., Sahoko A.**

NPO Banromsai Japan 1036 Horiuchi, Hayama-machi, Miura-gun, Kanagawa-ken 240-0112 Japan tel:046-876-6209 fax:046-876-6219

BanRomSai (Banyan Home Foundation) 23/1 Moo4 T.Namprae, A.Hangdong, Chiangmai 50230 Thailand tel:66-53-022245 fax:66-53-427434

ゲンの大活躍

ナンプレー中学校に通うゲン。この度、担任の先生に抜擢され、同級生2人と共に、3人1組で参加するWorld Robot Olympiad 2022の「アンダー15」部門にてタイ北部の代表選を勝ち抜き、9月に開催されたタイ代表決定戦に出場しました。結果は大健闘の全国大会7位入賞！1位のチームは12月にドイツで開催される世界大会への参加権が得られるそうです。ゲン、がんばりました！おめでとう！



コロナ中もマスクでサッカー！ボールが5個しかないので、中古ボールと運動靴持って来られる方お待ちしています！とダムさん



スタッフのベンさん、事務所のテラスで仮住まい…という日々も。



気をつけていても…

長引くリモート授業が明け、一時期学校にいける時期がありましたが…早速子ども達が感染。陽性者が出ると、施設は即出入りが制限され、出勤中のスタッフは1週間～10日間その場で隔離され、毎日行う抗体検査が陰性になるまで移動不可となります。みんな元気でも毎週1回、スタッフも含め全員が抗体検査を行わねばならず、せっかく浮いた通学時のガソリン代等も、コロナ関連費用で吹っ飛びました。



男の子たち、女の子たち、スタッフも、みんな揃ってコロナ生活。子ども達と一緒に食べていた食堂もまだ閉鎖中。

雨漏りで各所の天井が落ちてきた！

雨季真っ只中のある夜、メキメキと音がしバーン・シラカバ(しらかばライオンズさまのご寄付で建てた女子棟)の天井が落ちました。例年にない大雨続きゆえ、雨漏りと老朽化に耐えられず、このままでは危険と判断し修理決行。メンテナンスチームを率いるトンくんリードのもと卒園生のヌンも大活躍。hoshihana ダイニングも雨漏りが酷く改装中ですが、レセプション&ショップはまだビニール掛けのまま新年を迎えることになりそうです。

(*修繕費としてのご寄付も今後ご検討いただければ幸いです)



壁も柱も真っ白！新築のように美くなりました。



children's episodes

工事中、女子全員が旧雑貨場にお引越。簡易の蚊帳でキャンプ状態。



卒園生 ヌン

メンテナンスチームで働く卒園生のヌンはみんなのムードメーカー。水道・電気などの工事もお手のもの。塗装の仕事も丁寧です。



休憩時間のお楽しみ、移動販売！

雨季の出来事

市内各所で洪水となった今年の雨季。子ども達の家は大丈夫でしたが、貯水池が溢れhoshihanaの敷地内では一時的に、入り口の門の横からウホウコテージのわきまで川が流れました！そんな時でもスタッフたちは笑顔で「溝を掘ったからマイベンライ」と、心強い限り。

地盤が緩んでまた敷地内の木が倒れました。今回は諸々の修繕で元棟梁のチャイさんも手伝いに来てくれました！ヌンもお手伝い(左奥)。洪水と停電が多い雨季でしたが全員ケガもなく元気です。



子ども達がよく釣りに行く裏の貯水池が溢れました！



バーンロムサイの活動



1999年、タイ北部チェンマイに設立されたHIVに母子感染した孤児たちの生活施設。抗HIV薬が行き渡り、母子感染も防げるようになった現在、様々な事情で親と暮らせない子どもたちも受け入れ、児童養護施設及び地域のシェルターとして運営しています。

- ・在園生の生活 & 自立支援、卒園生の教育 & 医療支援
- ・様々なプロジェクトで地域を支援 (少数民族、図書館、スポーツプロジェクトなど)
- ・エイズに関する啓発活動



バーンロムサイチルドレンズホーム



ホームの自立した運営を目指し、2001年から少しずつ始めたものづくり。地域の特色を生かした雑貨やアクセサリ、着心地の良い衣類等を作って販売しています。

- ・地域の伝統工芸や特色を生かしたものづくり
- ・染め、織り、刺繍等の伝統技術の継承
- ・HIV感染者及び少数民族出身者の雇用
- ・ホーム及び地域の子どもたちの職業訓練と就労の場



バーンロムサイのものづくり



チルドレンズホームに隣接する、コテージリゾート。自然あふれる広々とした敷地内に点在する個性豊かな11棟のコテージは、支援者のご寄付によって建てられました。ゆったりとした心地よい時間をお過ごしいただけます。

- THE PLACE YOUR MIND BREATHES. -

- ・少数民族出身者の雇用創出
- ・子どもたちの職業訓練と就労の場
- ・地域の食文化や文化を伝える場
- ・スタディーツアー、ヨガリトリート、アートインレジデンス等



コテージリゾート ホシハナ

children's episodes

hoshihana 新メニュー
「ミヤンカム」。パイチャブルー
の葉はお庭に自生しています♪



子ども達自慢の菜園

ステイホームで本格化した子ども達のオーガニック菜園も、はや3年目。立派に収穫できるようになりました。タネはモン族出身の保父、コムさんの山からいただき、肥料は自家製。子ども達にとっても楽しく、スタッフのベンさん曰く、モン・カレン・タイヤイ・タイ人、スタッフ全員の知恵と力を合わせた「ロムサイ・スタイル」で作ったとの事。収穫を直売所のようにセッティングし、hoshihana で購入できるプロジェクトも始まっています。hoshihana 宿泊の際には、ぜひ菜園で収穫→コテージのキッチンでお料理を!



まめまめしくお世話した甲斐あって、
ヒョロとしたサボテンから立派な
ドラゴンフルーツが育ちました。



ドラゴンフルーツは
そのまま食べる以外にも
hoshihana dining の
オリジナル・ドリンク
「スノードラゴン」に変身!

ハーブ水に使うバイトウーイや、
レモングラス、アボカドや様々な
野菜もすくすく育っています。



タイ・バンロムサイ財団 会計報告 2021年9月1日~2022年8月31日

収入	NPO法人バンロムサイジャパンからの寄付金	9,310,000 円
	タイ国内からの寄付金 (日本人支援者のご紹介による大口寄付あり)	7,031,159 円
	その他収入 (*①)	625,958 円
収入合計		16,967,117 円

支出	教育費・生活関連費・医療費	5,350,909 円
	ホーム人件費 (卒園生4名はホシハナ雇用にて*②)	8,539,250 円
	ホーム運営費	965,812 円
	修繕費	2,065,965 円
	光熱費	948,458 円
	地域プロジェクト (卒園生支援、スカラシップ他)	629,014 円
	雑費その他	45,174 円
支出合計		18,544,582 円

当期収支差額 (*③) △ 1,577,465 円

※1パーツ=3.8円 (前期のご報告は1パーツ = 3.5円)
*①再開したリゾートホシハナからの地代家賃収入 (未だコロナの影響あり減額中) が復活。*②ホシハナ閉鎖中は財団で雇用していた卒園生4名を再びホシハナにて雇用。*③当期収支差額は前期分プラスにてカバーしています。

前期まで3.5円で計算していたパーツは現在ほぼ4円。円での寄付額がパーツでは約1割目減りし...日本からタイを支援するのが中々厳しい時代になりました。

今期は日本からの送金を減らし、現地の収入を回復させるべく、春から宿泊業の再開に向け動き出し、卒園生も再開したリゾートホシハナで働き始めています。それに伴いバンロムサイ財団の現地収入 (ホシハナからの地代家賃収入) も復活。

また、この冊子を通してバンロムサイの活動を知ってくださったタイ国内の方々からパーツでのご寄付を賜り、日本からの送金額を抑え、物販及び宿泊、自立事業の再開に注力した一年となりました。

特記すべきは、ホーム敷地内もホシハナ同様、建物の老朽化による修繕作業が多く、大工さん達が活躍したこと。幸い怪我人は出ませんでした。女子棟の天井が崩れ落ち、これを機に天井はすべて張り替えました。

オフィス棟も含め、屋根の痛んだ箇所も補修しているので、今後20年は大丈夫だと思います!

ご支援下さったみなさまに、心より感謝申し上げます。